

中干しの 適期実施で 倒伏防止！

令和3年 夷隅地域水稻生育情報

第 1 報

令和3年5月25日
夷隅農業事務所
改良普及課
TEL 0470-82-2213
FAX 0470-82-3975

生育概況

3～4月初めにかけて気温が高く推移した結果、苗の生育が進み、苗丈が高くなる傾向でした。それ以降は気温は平年並みに推移しましたが、移植直後に強風や低温の影響を強く受けたほ場では、活着が遅れ、分けつが停滞気味でした。5月に入り気温が上昇したため、その後は順調に分けつが進み始めています。

今後、茎数の増加が見込まれるため、ほ場ごとに生育を確認し、適期に中干しを行うように注意してください。

表1. 夷隅地域での作柄調査ほの平年比生育状況（5月20日現在）

品種	調査場所	植付時期	平年比*		
			葉齢の進み	草丈	茎数
ふさこがね	大多喜町下大多喜	4月20日	並	並	少
コシヒカリ	いすみ市松丸	4月20日	やや遅い	並	少
粒すけ	いすみ市島	4月19日	並	並	少

※ 粒すけは調査2年目のため、昨年度と比較した結果を示しました。

1. 【藻類の発生が早まっています】～藻が広がる前に早め早めの対策を～

今年は2～3月の平均気温が平年値を上回った結果、藻類の発生が早まりました。藻類が多発すると、藻類により苗が押し倒されて欠株が発生したり、水温が上がらないことで、苗の生育が抑制されたりします。

ほ場一面に藻類が広がると、除草剤（特にジャンボ剤）や肥料散布の妨げになるため、藻類多発ほ場では、表2の除草剤を用いて防除しましょう。

表2. 藻類の防除効果のある薬剤例

資材名	使用量	使用時期/使用回数
モゲトン粒剤	2～3kg/10a (湛水散布又は 無人ヘリコプター散布)	藻類の発生始～発生盛期 /3回以内 (但し、収穫45日前まで)

※ 農薬を使用する際にはラベルをよく読み、適正使用に努めてください。

2. 【スクミリングガイの食害に注意】～複数の防除方法を組み合わせて対策を～

今年も一部地域でスクミリングガイ（ジャンボタニシ）による食害が発生しています。

スクミリングガイの食害は、田植え後3週間程度まで見られます。被害が多いほ場では表3を参考に薬剤防除を実施しましょう。併せて、水深4cm以下の浅水管理（耕種的防除）、貝や卵塊除去（物理的防除）を組み合わせて体系的に防除しましょう。

近年、スクミリングガイの生息地域が徐々に拡大しています。作業後には乗用機械をよく洗浄し、生息地域外へ泥塊と一緒にスクミリングガイを持ち出さないように注意しましょう。

表3. ジャンボタニシ殺貝効果のある薬剤例

資材名	施用量	施用時期/使用回数
スクミノン	1～4kg/10a	収穫 60 日前まで/2 回以内
スクミンベイト 3	2～4kg/10a	発生時/ -
ジャンボたにくん	1～2kg/10a	収穫 60 日前まで/2 回以内

※ 農薬を使用する際にはラベルをよく読み、適正使用に努めてください。

3. 【過剰分けつ予防】～茎数を確認し、生育に合わせた中干しを実施しましょう～

近年、気温の上昇により、分けつが過剰になるほ場が増えています。中干しは過剰分けつを避けるための重要な管理です。適期の中干し実施により、乳白米等の玄米品質低下を抑制し、根の活性を高めることで倒伏防止にもつながります。

表4に中干し開始時期の目安を示しましたので、参考に中干しを開始しましょう。

表4. 品種別の中干し開始時期の茎数の目安 (50 株/坪植え)

品種	中干し開始時期の茎数の目安		
	砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	32 本/株	32 本/株	29 本/株
ふさこがね	24 本/株	24 本/株	24 本/株
コシヒカリ	21 本/株	20 本/株	20 本/株
粒すけ	31 本/株	29 本/株	29 本/株

4. 【早め早めの除草剤】～雑草が目立ち始めたら中干しまでに対処しましょう～

水田雑草のノビエやホタルイの取りこぼしが目立つほ場が多く見られます。

雑草が多発すると水稻の生育・収量の低下のみならず、斑点米カメムシの増加を助長し、玄米品質の低下にもつながります。ほ場に雑草が見られる場合は、表5を参考に中・後期除草剤を散布しましょう。

表5. 取りこぼしたノビエやホタルイに効果のある薬剤例

除草剤名	使用量	施用時期/使用回数	使用方法
クリンチャーバ ス ME 液剤	1000mL (希釈水 量 70～100L) /10a	移植後 15 日～ノビエ 5 葉 期 (但し、収穫 50 日前まで) /2 回以内	落水散布又は ごく浅く湛水して散 布

※ 農薬を使用する際にはラベルをよく読み、適正使用に努めてください。

『水稻生育情報』の入手には、メールや FAX への切り替えがおすすめです。

できるだけ迅速に情報提供を行うため、
郵送からメールもしくは FAX での提供に切り替えをお願いしています。

切り替え可能な方は、右記連絡先までその旨をお伝えください。

連絡先

夷隅農業事務所 改良普及課

担当者：緑川、鈴木、板倉

電話：0470-82-2213 FAX：0470-82-3975

E-mail：s.sz311@pref.chiba.lg.jp